

# コミネット宝木だより

## 宝木地区防災防犯訓練 初開催

2月26日（日）に宝木地区防災防犯訓練を、宝木地区公民館駐車場・大会議室にて開催しました。

今回の防災防犯訓練の目的は、以下の3点を目的として開催しました。

- (1) いつ起こるか分からない、地震や火災、また不審者の進入などに備え、火災予防や、災害時の人命の安全と速やかなる退避方法を知る。
- (2) 宝木地区全住民の“危険から自己の生命を守る意識”を育てる。
- (3) 防災・防犯と災害発生時の対応に当たり、宝木地区全住民の連帯感を醸成する。



宝木地区の8集落すべての集落の住民の皆様を対象とした初めての防災防犯訓練に、役員の皆様を含め107名超の方に参加をいただきました。限られた時間ではありましたが、予定していた「放水訓練」「消火訓練」「救出訓練」「救護訓練・講習」「炊出し訓練・試食」を全て行う事ができました。ありがとうございました。



消防ホースの繋ぎ方、伸ばし方の方法を学ぶ。



消火栓を使用した放水訓練。



水消火器を使用した、消火訓練。



宝木駅の負傷者を救出し、宝木地区公民館まで運ぶ訓練。



心肺蘇生・AED使用方法などを学ぶ。



ハイゼックス炊飯袋による炊飯方法を学び、試食を行う。



平成28年度  
**宝木地区民の健康を考える会**  
 (宝木地区まちづくり協議会 健康を考える会推進委員会) 主な活動

**市民活動表彰受賞**



鳥取市より、健康の増進を図る活動が評価され、市民活動表彰を受賞。  
 11月24日(金) (宝木地区公民館ロビーに展示)

**アスパラウォーキング**



宝木地区公民館より、みどり農産までウォーキング、アスパラ収穫後、再び宝木地区公民館までウォーキング。宝木地区公民館にてアスパラを使用した料理(蒸し焼き・肉巻き)の試食を行う。  
 8月20日(土)

**健康づくりの3本柱**



**住民主体の活動 ~5年間のあゆみ~**

本部 澄

「長生きしたいネ」「それも元気でなあ」「寝たっきりにはなりたくないでなあ」の地域の声、そのような声が宝木地区公民館健康部に聞こえてきました。住民の声にこたえるべく、まちづくり協議会で健康づくりを推進するチームとして結成され、アドバイザーとして気高町市民福祉課の保健師に依頼し、平成24年7月に「宝木地区民の健康を考える会」は発足しました。

健康講演会で、鳥取県東部保健事務所 長井 大先生に講演いただき、「健康づくりは絆づくり地域づくり」という講演をしていただき、それを会のモットーとしています。また、目標は生活習慣病と向き合うまちづくりです。

初年度から2年かけて、地区の健康実態を把握すべく、小学生以上の全住民を対象に健康アンケート調査をしました。結果を各集落に出向き報告し、その意見をもとに会の根幹となる「健康づくりの3本柱“健康診査の受診”、“運動習慣の定着”、“食育の推進”」を決定しました。H27年4月のことです。

「食育の推進」では、40年前宝木地区で行われた、ツルムラサキ栽培を引継いだツルムラサキ復活キャンペーン、「運動習慣の定着」と、「食育の推進」を兼ねたアスパラウォーキングなど。「健康診査の受診」では、受診率向上のため地道な取り組みを行い、受診率が上がり、平成28年10月には気高町内で初めて、一括検診できるセット健診へとつながりました。その他ニュースの発行・チャレンジカード等もおこなっています。

これら住民主体の健康活動が認められ、鳥取市市民活動表彰を受けました。現在は編集委員を中心に、5年間のあゆみをまとめた冊子づくりに取り組んでいます。

今後も住民みんなの参加で生活習慣病と向き合う取り組みを進めていきたいものです。

**ふれあい市協力**



宝木地区公民館駐車場で開催された、ふれあい市に協力し、野菜を使用した無料振舞い、野菜の効能のパネル展示・説明を行う。  
 春 5月28日(土)、夏 8月11日(木祝)、冬 12月25日(日)

**野菜を食べよう食育料理教室**



野菜を食べることの大切さを、子どもたちにも知ってもらうため、気高人権センターで、食育料理教室を開催。山梨県の郷土料理である、ほうとう麺をつくり、野菜たっぷりのほうとうを食す。1月21日(日) (気高児童館と共催)

**集団検診時イベント**



集団検診にあわせ、足指力測定、血管年齢測定、ツルムラサキ料理の試食、ミニ野菜市、野菜の効能パネル展示を行う。  
 10月3日(月)

**ツルムラサキ配布**



種から育て、苗を希望される家庭へ配布。5月~8月

**気高ときめきまつり参加**



これまでの活動の様子を展示。10月29・30日(土・日)

# 平成28年度 その他の活動

## 貝がら節まつり一斉おどり 9年連続 貝がら賞



平成28年8月6日(土)に貝がら節まつり一斉おどりが開催され、宝木地区まちづくり協議会から、34名参加。結果、9年連続「貝がら賞」(一番良い賞)を受賞。

### 宝木小学校



## 第51回卒業生同窓会 開催



#### 同窓会に思うこと

同窓会推進委員長

山本 正博

本年は昨年に続き、10名の卒業生で開催しました。「久しぶり」「ちっとも変わらないな」いつの時代でも変わらない風景の中、楽しい時間を一緒に過ごしました。出来ることなら、タイムスリップして、同じ空気を味わいたいと感じた幸せな時間でもありました。



平成28年8月13日(土)に、今年度21歳を迎える宝木小学校卒業生を対象とした同窓会を開催。まちづくり協議会の説明、同窓会開催の趣旨を説明後、同窓生による歓談。

## 平成28年度を振り返って

宝木地区まちづくり協議会  
会長 米田 克彦

本年度より、まちづくり協議会の規約を改正、それに伴い組織を改めました。各委員会は、「防災防犯」「ふれあい市推進」「桜土手・花壇整備」「貝がら節踊り推進」「同窓会推進」「アーカイブ保存」「たより啓発」「健康を考える会推進」と『後援協賛事業』にも取り組んでいます。

従来より行っている事業は、それぞれの委員長を中心に計画・実行しました。

特記すべき事業は、「防災防犯委員会」です。メンバーは防災リーダー、各部落自主防災会、宝木部落自警団、日赤奉仕団、民生児童委員、宝木小見守り隊、宝木駐在所、女性代表、有識者で構成されており、3回の委員会を開きました。

そして、2月26日の訓練では、本紙3ページの訓練(写真)と、災害時における留意すべきことの講話を日本赤十字社・浜村警察署の方にいただきました。

まだまだ創意工夫すべきことはありますが、初回としては大成功に終わりました。

次回からは住民の皆様により多く参加をいただき、いつ起こるかも分からない災害に対し、実践的な訓練が行えれば申し分ないと思います。

最後に、総会で承認していただいた事業の中には、実行出来なかったものがあった事を報告し、ここにお詫びし、ご了解いただきたいと思います。

また、本年度一年間の各事業に、ご参加ご協力いただき、ありがとうございました。